

10
2021

三重病院

ニュースレター

news letter vol.266



01 糖尿病と新型コロナウイルス感染症

02 臨床研究部からのお便り—第41回—

03 通所支援事業のひとコマ
やまばとギャラリー情報コーナー
5病棟の生活のひとコマ[®]
医療安全だより

04 病院からのお便り
外来からのお知らせ／外来診察のご案内

糖尿病と新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の流行が拡大する中、不安な気持ちでお過ごし糖尿病患者さんも多いのではないかと思います。

糖尿病に罹患していることや血糖コントロールの不良は、細菌感染症の罹患や重症化リスクであり、2003年に流行したSARSや2009年に流行した新型(H1N1)インフルエンザなどのウィルス感染症でも、重症化のリスクであることが知られています。それでは、新型コロナウイルスの場合どうでしょうか。これまでの報告では、糖尿病と新型コロナウイルス感染リスクの関係に一貫した傾向は認められていません。しかし、糖尿病患者さんが新型コロナウイルスに感染した場合、糖尿病がその重症化に関連するという報告が続いており、その可能性は高いと考えられます。また、従前の血糖コントロール状態は、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクに影響することが示されています。

新型コロナウイルス感染リスクを低減するためには、手指衛生、目口鼻の防護、他人との距離を保つこと、ワクチンの普及が非常に重要なことは周知のとおりです。緊急事態宣言下では、感染拡大防止のために不要不急の外出や移動の自粛が必要となりますが、必要以上の外出自粛は、普段の活動量や運動量を減少させ、これまでの食習慣を変化させる可能性があります。糖尿病患者さんにおいては、体重増加や高血糖を防止するため、積極的な活動を心掛け、食事の摂り方に十分に注意する必要があります。また外出自粛を理由に医療機関への受診を極端に控えることは、血糖コントロールや病状の悪化につながる可能性がありますので、個々の状態に応じて適切な間隔での受診が必要です。

糖尿病患者さんが、感染症などの病気にかかり、発熱、嘔吐、下痢、食欲不振になり、血糖値が乱れやす

くなった状態を「シックデイ」(=体調の悪い日)と呼びます。シックデイでは、病気のストレスでインスリンの効きが悪くなって高血糖となったり、その反対に食事ができず、食べる量が少ないにも関わらず、いつも通り薬を飲んだり注射することで低血糖がおきることがあります。新型コロナウイルス感染によるシックデイも通常のシックデイと同様に、家庭での対応の基本である「シックデイルール」を守ることが大切です。

シックデイルール

- ① 安静と保温につとめる
- ② スープなどで十分に水分を摂り、口当たりがよく、消化しやすいお粥やうどんなどで炭水化物を摂取する
- ③ インスリンは自己判断で中断しない
- ④ 経口薬を使用している患者は、服用量の調整が必要な場合がある
- ⑤ 可能ならこまめに血糖自己測定をして、血糖値と病気の状態を確認する

以下の場合、速やかに医療機関を受診してください

- ① 発熱、消化器症状が強い時
- ② 24時間にわたって経口摂取ができない/著しく少ないとき
- ③ 血糖値 350mg/dL 以上の持続、血中ケトン体高値、尿中ケトン体強陽性のとき
- ④ 意識状態に悪化がみられるとき

シックデイの際には個々の病状に応じた対応が必要となりますので、かかりつけ医と事前に相談しておきましょう。



参考文献：糖尿病と新型コロナウイルス感染症に関するQ&A (第2版)、糖尿病治療ガイド(日本糖尿病学会)他

(糖尿病内科 荒木 里香)